

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

ランキング途中経過 - 2016.04.01 Fri

こんにちは、らくだです。

カクヨムの『激烈ワナビ戦』ですが、3月31日に、無事に完結することができました。

現在のランキングですが、4月1日段階の途中経過では、ラブコメ部門 62 位。

読者選考期間は4月7日まで（あと7日）なので、もし読んで面白いと感じてくださったならば、★やレビューなどで応援して頂けると幸いです。

【激烈ワナビ戦】

<https://kakuyomu.jp/works/4852201425154962046>

- ・執筆時期 2010年11月
- ・加筆修正 2016年2～3月
- ・作品ジャンル なんちゃってワナビバトル
- ・新人賞の通過歴 GA、HJ、電撃大賞で1次通過

文字数は100,000字超ですが、軽い文章で書いたので、割と読みやすいと思います。

自分で言うのも何ですが、らくだ図書館の3倍くらい、ふざけた態度の作品です。

改稿する為に読み返した時は、「6年前の自分は何故こんなモノを書いた（汗）」という、真面目な疑問が浮かびました。

ただ、基本的にはギャグなんですけど、その中に文章を書くことの楽しさ、小説投稿への熱い意気込みなど、自分の気持ちをたくさん詰め込んだつもりです。

というわけで。

残り短い期間ではありますが、その想いが少しでも多くの皆様へ届くよう、書き手として祈っております。

花見へ行ってきました - 2016.04.02 Sat

ついに四月！

桜の花も今が満開！

というわけで花見に行って参りました。

こちらは大阪城北詰近くの、藤田美術館の付属庭園です。



ご覧の通りまさしく今が満開ですが、朝早く行ったので人も少なく、景色を満喫することができました。

ブルーとピンクのコントラストが素敵ですね。

加工なしでもこれだけ青空で、目が痛いほどの眩しさでした。



さてさて。

ここから徒歩で桜ノ宮公園の河川敷へ向かいます。

河川敷へ向かっている途中、桜のトンネルがありました。



この道を独占できるなんて、まさに早起きは三文の徳！
(ちなみに午後は激混みでした……)

見上げると枝先まで花が。
満開すぎて勿体ないくらいです。



自分は梅も好きですが、桜はブワッと一気に満開になるので、見応えがありますよね。

河川敷にはたくさんの屋台が。
ゆっくり歩いているうちに、人出も多くなってきました。



疲れたので少し休憩を……。

というわけで、近くのOAPビルへ。

どの駅からも遠い立地ですが、花見の時は、毎年お世話になっています。



昼食は「麺匠・桂邸」という店で、鶏白湯ラーメンを食べることに。

コラーゲンたっぷりの濃厚スープ。

豚チャーシューではなく、具のお肉も鶏肉で、まさしく鶏づくしです。



スープまで飲み切ってご馳走様でした！

食後は来た道の対岸を通り、天満橋駅まで歩きました。
かなりの距離でしたが、満開の桜を見ながらだと、歩く時間も楽しいです。



去年はここから大阪城へ向かったんですが、今年は体力的に厳しく、お花見イベントはここで断念することに……。

なにはともあれ、楽しい休日でした。

やっぱり春はいいですね。
来年もまたこうやって、桜を見たいと思います。

こんにちは、らくだです。

年度末がバタバタと終わり、いよいよ 4 月になりました。

少し前にこのブログに書いた通り、自分は小説投稿 8 年目へ突入ですが、今後も初心を忘れず頑張ります。

さてさて。

まずは月頭ということで、パブ版のリンクを紹介。

らくだ図書館もついに 51 冊目になりました。

何冊まで行けるのか自分でも不明ですが、これから先も力尽きるまで続けたいです。

【らくだ図書館 (51)】

<http://p.booklog.jp/book/105811>

そして以下コメントレスです。

拍手には返信できないので、こんな場所から失礼します。

【くみこ様】

感想ありがとうございました！

おっしゃる通り確かに改稿って大事ですよ。

どんどん新作を書くのも大事ではありますが、改稿はまた改稿で、別の部分が鍛えられるかなと思います。

【ごんべ。様】

フィギュアのシーズンが終わりましたね。

色々と問題(?)もあったようですが、いい演技がたくさん見られて、見応えのある世界選手権でした。

小説投稿・フィギュアスケート共々、これからもよろしく願います！

こんにちは、らくだです。

雑誌コバルトがウェブ化したことによって、短編小説新人賞の講評が、インターネットで読めるようになりました。

これまでは雑誌をチェックしていましたが、無料でいつでも読めちゃう環境は、投稿者にとって非常にありがたいですね。

現在は第 181 回の結果が公開中。
公式サイトへのリンクを貼っておきます。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no181/>

コバルト短編賞の魅力的な部分は、入選作と講評をあわせて読めるので、チェックすると勉強になる点です。

あと、一人が書いた講評ではなく、複数人の座談会形式なのも魅力的。

「ここは印象が悪かった」とか、「逆に私は好感を持った」とか、編集者同士でも意見が割れたりするので、色んな見方があるんだなあーと勉強になります。

一人が書いた講評も、もちろんプロの意見として貴重ですが、一つだとそれがすべてになってしまいますもんね。

ただちょっと残念なのは、講評ありの作品が、今回は一本のみだったこと。

たまたま入選作が少なかったのか、ウェブ化して今後は一本になるのか、その辺の詳細はわかりませんが、次回の更新を楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

集英社ラノベの 4 次発表がありました。

以下リンクを貼っておきます。

通過された方々はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx4thAward/result.html>

応募総数 780 作品

1 次通過 181 作品 (約 23 %)

2 次通過 30 作品 (約 4 %)

3 次通過 11 作品 (約 1 %)

4 次通過 3 作品 (約 0.4 %)

気になる最終発表は今月下旬。

残っているのがすでに 3 作品だけなので、どれも何かしらの賞を受賞すると思いますが、どういう最終結果になるのか楽しみです。

それから今週の月曜日には、3 次落ち作品の評価シートが、発送完了したようです。

【評価シート発送完了のお知らせ】

<http://sdbunko.blogspot.jp/2016/04/blog-post.html>

自分は 1 次落ちでしたが、やはり実際に参加した賞は、結果も楽しみですよね。

次回（第 5 回）の応募締切は 4 月 25 日で、それまでには発表されると思うので、引き続きチェックしていきたいです。

こんにちは、らくだです。

カクヨムブログが更新されました。

不正行為を行ったアカウントは、厳しく対処するという内容です。

【規約違反行為に対する対応について】

不正に対する厳しい対処は心強いですが、逆にそれだけ規約違反が多いという意味でもあり、その事実については本当に悲しい限りです。

これ……。

個人的に思うんですけど……。

ここまで不正が横行してしまった一因は、「コンテストを通過できるのはランキング上位作品のみです！」という、ランキング至上主義のせいだと思うんですよね。

もちろんこちら側だって、最初から承知の上でコンテストに参加してますし、そこに異論はないんですが。

ただもし仮に、なろうコン形式（ポイント0でも通過可能）だったら、複アカとかフォロ爆とか未読の評価付けとか、ここまで蔓延しなかったんじゃないかなあーと。

というわけで、多少モヤモヤした気分ではありますが、サイト自体がまだオープンしたばかりですし、これから良くなっていくだろうと心から期待しています。

そもそもサイトのシステムがどうであれ、利用者のマナーやモラルが十分に高ければ、不正行為なんて発生しませんからね。

誤った方法で自作の評価を上げるくらいなら、その労力を執筆に注ぎ込む方がいいに決まっていますし、そういう誠実な書き手でありたいと思います。

本日が最終日です - 2016.04.07 Thu

こんにちは、らくだです。

三月から宣伝ばかりで、ブログもツイッターも大変ウザかったと思いますが、これが本当に最後の宣伝。

カクヨムコンテストですが、読者選考期間が本日4月7日（木）23:59まで、つまりあと数時間で終了です。

巷で横行している不正を思うと、あまり躍起になるのも気が引けますが、そうはいつでも応援は励みになりますし、閲覧・評価・感想などたくさん頂けますと嬉しいです。

【激烈ワナビ戦】

<https://kakuyomu.jp/works/4852201425154962046>

他に適当なジャンルがなかったので、一応ラブコメ部門に登録しましたが、文章でバトルするストーリーです。

(と言えるほど戦ってないけど)

あと、親しい投稿者さんとチャットで話したんですが、作者はどのキャラが好きか完全にバレバレ状態らしく…… (汗)

鼻屑しないように注意したんですが……。

まあ見る人が見れば一発でわかるでしょうね……。

というわけで。

落選が確定するまで載せておきますが、終わったら公募に出したいと思っているので、もし読んで頂ける場合は今のうちにどうぞよろしく申し上げます。

以上、最後の宣伝でした。

読者選考期間が終わりました- 2016.04.08 Fri

こんにちは、らくだです。

カクヨムの読者選考期間が、昨日、4月7日（木）で終了しました。

まずは読んでくださった皆様に感謝を。

ネット小説の連載は初めてだったので、不慣れな部分も数多くありましたが、周囲の温かい応援があったからこそ、無事に完走することができました。

嬉しいレビューに励まされたり、逆に厳しい反応に落ち込んでしまったり、短い期間に色々な出来事がありましたが、そのすべてが結果的には自分の大切な財産になったと思います。

というわけで。

思い切って参加してよかったし、この経験を、今後の創作に活かしたいです。

それにしても、読者選考の結果は、一体いつわかるんでしょうね……？

【最終選考期間・2016年4月8日（金）～5月13日（土）】

これは読者選考の通過作を決める期間なの？

それともそれはすぐに決まって、その上で受賞作を決める期間なの？

という感じで、第1回なので不明な部分だらけですが、今から出来ることは正直何もありませんし、通っていると祈りつつ発表の瞬間を待ちたいです。

あと、カクヨムブログに書いてあったんですが、今日から編集者さんが作品にレビューをつけ始めるみたいですよ。

作品選びの基準は不明ですが、自分の小説がレビューされたら嬉しいです、発表共々楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

電撃の編集長として有名だった三木一馬さんが、AMW を退職して『ストレートエッジ』という、新たなエージェント会社を設立された模様です。

新しい会社は出版社ではないので、我々投稿者にとって「小説を書いて投稿して……」というアプローチはできませんが、チェックして損はないと思います。

以下、公式サイト。

活動方針や契約作家リストなどが載っています。

【公式サイト】

<http://straightedge.jp/>

公式サイトはまだ情報が少ないですが、note で活動報告をしているようです。

最初の投稿は4月7日ですが、すでに6つも記事があります。

【公式 note】

<https://note.mu/straightedge>

すべての記事を読みましたが、「編集者からエージェントへ転身することで、既存の出版業界が抱えている限界を打破し、より作家に寄り添った広範囲な活動をしていく」という感じでしょうか。

三木さんほど実績のある編集者なら、（下世話ですが）将来安泰だったはずなのに、まさか退職して新会社を設立するなんて、尊敬するほどのチャレンジ精神ですね。

この試みがこれから軌道に乗っていけば、既存の出版業界に大きな風穴を開ける存在になりそうですし、今後の動向を見守りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

本日は4月10日（日）、電撃の締切りです。

ツイッターでも応募報告が見られますが、作品を投稿された方はお疲れ様でした。

今年からウェブ応募が可能になったので、深夜0時になる直前まで、作業を続ける方もいることでしょう。

誰がなんと言ったって、23:59までは4月10日。

まだ作業を終えてない方も、最後まで頑張ってください。

ちなみに自分ですが、執筆スケジュール・他賞との兼ね合い・個人的な心情などを考慮した結果、今年是不参加です。

え？

個人的な心情の内容？

「【ヒント】おままごとレベル」

はい。

ヒントじゃなくて答えですね。

というわけで、7年間送り続けた賞を今回初めて見送りますが、見学者として発表はチェックしたいと思えますし、投稿された皆様に良い結果が出るよう全力で祈っております。

あ。

この後の応募予定ですが、えんために投稿します。

というわけで、えんため参加組の皆様は、祭りの際によろしくお願いします！

カクヨムコンテストの読者選考の結果ですが、公式ツイッターによると、今週の金曜日までには発表があるようです。

というわけで。

応援してくださった方々に改めて感謝を。

評価やレビューをくださった皆様、メールで嬉しい感想を送って頂いた渡来様、どうもありがとうございました。

仮に今回落ちてしまったとしても、この応援を今後の創作の活力とし、ご恩を返せるように精進します。

それにしても、ネットで小説を連載するのって、面白いですね。

正直面喰らった部分もありますが、それと同時に、非常に貴重な収穫もありました。

中でも特に手応えを感じたというか、「やって良かったな」と思ったのは、多種多様な意見が聞けたことです。

面白かったネタ、印象に残ったシーン、気に入ったキャラクター。

そういうものは、当たり前ですが人によって全然違うので、同じ話でも読み方は無限にあるんだなーと感じ、自分の書いた作品へより理解を深めることができました。

たとえば公募の評価シートなんかだと、その意見が「絶対正義」みたいになってしまう面があるので、色々な感想を聞いたのが本当に新鮮で。

もちろん自分は公募も評価シートも大好きですが、創作にはこういう楽しみ方もあるんだという、一つの可能性を新たに見つけられた気がします。

以上、初めてネット小説に挑戦した感想でした。

嵯峨野（さかの）トロッコ列車- 2016.04.12 Tue

以前から一度乗りたいと思っていた、嵯峨野トロッコ列車に乗車しました。

嵯峨野トロッコ列車は、京都の嵯峨～亀岡間を往復する、レトロな観光鉄道です。
車窓からは嵐山の竹林や保津峡など、素晴らしい景色の数々を堪能できます。



旅のスタート地点、JR 嵯峨嵐山駅。
雲一つ見当たらない、気持ちいい青空です。

この駅のすぐ横がトロッコ嵯峨駅。
赤レンガの素敵な建物で、中には売店やジオラマ館も。



さっそく駅の中へ入りましょう。

列車は一時間毎の出発で、復路は特に混雑するとか。
乗車券は JR のみどりの窓口でも事前購入することができます。



今回は 11 : 07 嵯峨発、トロッコ 5 号に乗車。

下の写真はホームの様子。

ワクワクしながら列車の到着を待ちます。



この画像は無人ですが、このあと人が溢れ返って、ホームは超満員になりました。
やはり京都だけあって海外からの観光客が非常に多かったです。

そうこうしていると、トロッコ列車到着！



そもそも嵯峨野観光鉄道ですが、複線化によって使われなくなった山陰本線を、平成 3 年に観光資源として復活させたのが始まりだそうです。

うーん。

かつての廃線を復活させたという部分に、なんとも言えないロマンを感じますね。



さっそく乗車して車内を撮影。

木の椅子や素朴な裸電球など、レトロな雰囲気が魅力的です。
これぞ観光列車という感じで、テンションが上がってきます。



出発してしばらくすると、保津川が見えてきました。

木々の間から見えているのは、「星のや」という、嵐山の高級リゾート旅館です。
左下には保津川観光船の姿もあります。



列車は山を越えるので、トンネルの数も多いですが、その合間に見える景色が本当に素晴らしい……！

緑豊かな山々。

水量豊かな保津川。

乗車時間は 30 分ほどですが、あっという間に感じました。



この景色が不便な山奥とかではなく、市内からすぐの場所で満喫できるのも、京都のスゴイところだと思います。

終着駅のトロッコ亀岡駅には、特に見所はないので、そのまま同じ列車で帰ることに。

往復の所要時間は 1 時間ほどですが、手軽に大冒険した気分を味わえました。



というわけで。

今回は嵯峨野トロッコ列車の話でした。

次回は嵐山の竹林散策の様子をお届けします。

こんにちは、らくだです。

嵯峨野トロッコ列車を楽しんだ後、嵯峨駅の近くで昼食をとりました。
その名も「嵐山カレー」という、お洒落なカフェ風のお店です。



和風なイメージとは裏腹に、京都のお店は、洋食もおいしいんですね。

写真は九条ネギと牛すじ煮込みのカレー。
スープがサラサラで食べやすく、ネギの食感とマッチしていました。



昼食が済んだ後は、嵐山の竹林散策へ。
ガイドブックに必ず登場する、京都観光の名所のひとつです。

人はそれなりに多かったものの、平日なので押し合うほどの混雑ではなく、ゆっくり散策できました。



竹林で日差しが遮られているせいなのか、それとも森林浴の効果(?)なのか、歩いているとフレッシュな気分になります。

あ！

竹藪の間からトロッコ列車が！



そうなのです。

さっきは嵯峨駅を利用しましたが、嵐山にもトロッコの駅があります。

嵯峨駅は赤レンガの豪華な駅でしたが、嵐山駅は比較的小さめで、いかにも「山の駅」という感じでした。



さてさて。

トロッコ嵐山駅のすぐ北には、一風変わった神社があります。

その名もズバリ、御髪（みかみ）神社！



髪結い業の始祖を祀る神社だそうで、理美容関係者の参拝が多いんだとか。

自分は床屋でも美容師でもありませんが、毛髪の悩みを遠ざけるべく、張り切って参拝することに決めました。



立て札に沿って進んで行くと……。

あ、あそこですね。

森の中に赤い玉垣が見えてきました。



いざ門前へ辿り着いてみると、敷地は小さめですが手入れが整っていて、落ち着いた印象の神社でした。

ここで髪を健康を祈願しました。

こんな神社があるなんて、昔の人にとっても、髪は重要だったんですね。



神社の前は広い池。

街の喧騒をしばらく忘れ、静かな一時を過ごせます。

嵐山と聞くとまず渡月橋の周辺を思い浮かべますが、奥の方まで来ると落ち着いていて雰囲気があるので、京都の中でも自分が特に好きなエリアのひとつです。



というわけで。

今回は竹林&御髪神社の話でした。

次回も嵐山散策の様子を、引き続きお届けします。

嵐山散策 - 2016.04.14 Thu

こんにちは、らくだです。

今回も嵐山散策の様子をお届けします。

御髪神社へ参拝を終えた後、天気もよかったので、アテもなく歩いてみました。



京都の中心部は狭い場所に建物が密集しているので、こういう場所に来るとなんだか急にホッとする気が。

まっすぐな道っていいですね。

歩いていると青空に吸い込まれそうな気がします。



ふと見上げると、遅咲きの桜が。

葉の部分も目立ちますが、これはこれで絵になります。

さらにまっすぐ進んで行くと、ジャングルのような雰囲気。



凄い場所だなーと思っていると、これまた味わい深い、素敵な並木道に出会いました。

おお……。

油断するとトトロが出そうだ……。



周囲の看板を見て気付きましたが、雰囲気が素敵なこの道は、その名もズバリ「愛とはの道」だそう。

愛とはそもそも何なのか。

深く考えながら歩いてみました。



周辺を散策した後、ふたたび竹林を通過して、嵐山へ戻ることに。

その途中で野宮（ののみや）神社へ参拝しました。
源氏物語にも描かれている、古い歴史を持った神社です。



自分は野宮神社＝縁結びだと思っていたのですが、子宝・安産・学問に関するご利益もあるそうで、境内にはたくさんの絵馬が掛けられていました。

嵐山は藤原定家が小倉百人一首を編纂した地でもあります。
絵馬のイラストも百人一首のように華やかですね。



以上の散策を終えて、大通りへ戻りました。

下の写真は阪急の駅へ向かう途中ですが、竹林の中から戻ってくると、この景色が非常に現代的に見えてきます。



休日は人で溢れ返るこの道も、平日の様子は比較のおだやか。

下は渡月橋から撮った桂川。

透き通るように美しい青空が、川面をキラキラ輝かせ、開放的な気分させてくれます。



トロッコ列車に乗ったり、カレーを食べたり、竹林を散策したり、古い神社を参拝したり。半日で色々な経験が出来るのは、京都の魅力的な部分だと思います。

最後に旅の終了地点、阪急嵐山駅の写真。



というわけで。

3回にわたって嵐山散策の様子をお届けしました。

次回からは普通の投稿記事に戻ります！

こんにちは、らくだです。

「小説家になろう」と「文学フリマ」のコラボ企画、「文学フリマ短編小説賞」が開催される模様です。

詳細については5月31日公開ですが、なろうの公式ブログにて、応募要項が先行発表されていました。

リンクはこちら。

参加予定の皆様は要チェックですね。

【告知ページ】

<http://blog.syosetu.com/?itemid=1903>

- ・オリジナル作品
- ・未出版作品
- ・4万文字以下の作品
- ・異世界転生、異世界転移の要素がない作品
- ・応募期間内に新規投稿された作品

特に注意したいのは「応募期間内（5/31～6/30）に作品を掲載」という条件でしょうか。

すでに掲載済の作品にタグ付けをしてもダメ。

ここは他の賞と異なるので、注意が必要な部分ですね。

ちなみに受賞作（4作品）については、文学フリマで冊子販売されるとか。

一般流通の形態で刊行されるわけではないので、作家デビューに直接つながる賞ではありませんが、新たな企画として注目していきたいと思います。

こんにちは、常木らくせんです！（出オチ）

というわけで。

カクヨムコンテストの読者選考は落選でした。

ラブコメ部門で2ケタの順位だったので、ちょっと期待してしまった自分があるんですが、やっぱりそう簡単にはいきませんね。

以下、発表ページです。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomu_web_novel_001

応募総数 5,788 作品

読者選考通過 185 作品

読者選考通過率 約3%

とまあ、そんなわけで。

今回自分が手に入れた物と言えば、「簡単にデビューできる方法は存在しない」という、非常に当たり前すぎる教訓です。

もちろん知ってましたけどね……。

ただ今回はその事実がひどく身に沁みたとするか……。

さりとて失った物も特にはないですし、この悔しさを糧にして、今後の創作へ向かいたいと思います。

非常に短い期間でしたが、応援してくださった皆様、ありがとうございました。

こんにちは、らくだです。

締切まで二週間ほどありますが、一足早く、えんため大賞に投稿しました。

えんためは紙原稿の郵送、データメディアの郵送、ウェブ応募の三種類がありますが、紙原稿を郵送しました。

本当はウェブ応募が圧倒的にラクなんですけど……。

今回送った作品はルビが多いので、紙原稿の方が安心なんですよね……。

とにかくそんなわけで、えんため参加宣言を。

今年は電撃不参加なので、夏の祭りはこれ一本です。

それから、ノベル投稿時にコメントをくださった方、えんため参加表明のメッセージありがとうございます。

自分以外にも参加者がいると、なんとなく心強いですよね。

お名前がわからないのですが、これからもよろしくお願いします。

あと一応、予定なんですけど……。

冒頭の宣言通り一本は応募できましたが、カクヨムの激烈ワナビ戦も、えんために投稿しようかなと思います。

何年か前に落ちてしまった作品ではありますが、加筆して以前とは完全に別物になったので、また公募に挑戦したい気持ちがあるんですよね。

というわけで。

投稿の準備ができ次第カクヨムから下げますので、たぶんいないとは思いますが、閲覧予定の皆様は今のうちにお願ひ致します。

数日前にここで報告した通り、カクヨムコンテストは落選だったわけですが、それに関する感想をもう少し。

いやもうね。

とにかくこれに尽きますね。

「ネット小説でもっとも難しいのは、作品を書いて載せることじゃなく、載せた作品を読んでもらうこと」

これはネット小説だけに限った話じゃなく、ブログや電子書籍もそうですが、載せただけじゃ何も始まらないんですよね。

ぶっちゃけ最初はナメてました。

このブログが毎日 200PV 程度だから、それくらいは余裕だと思ってました。

しかしいざ始まってみたら、一日の PV 数は 2~3 程度で、PC の前で愕然とする毎日。

もちろんこういう結果になったのは、作品の内容にも大きな原因があったと思いますが、ネット小説の現実的な厳しさを改めて思い知った次第です。

ただ、それを理由に連載をやめてしまうのは、応援して下さった方々に面目ないので、最後まで真面目に取り組んで更新を続けました。

おかげで改稿バージョンを完結できましたし、途中で精神状態は悪化したものの、今思えば悪い部分ばかりでもなかったかなと。

とにかく何が主張したいかと言うと、「簡単にデビューできる方法は存在しない」、本当にこれに尽きると思います。

以上、当たり前の話ですが、今回改めて痛感した教訓でした。

【今週のブログテーマ】 今回のテーマ：【「スケジュール管理」】

今週のブログテーマはスケジュール管理ですが、日記大好き子の自分は、スケジュール帳を日記代わりに使用しています。

<こんな感じで使い分け>

- ・ 小説投稿で思ったこと ⇒ らくだ図書館へ記入
- ・ 私生活で思ったこと ⇒ 自分用の日記へ記入
- ・ その日何をしたか ⇒ スケジュール帳へ記入
- ・ お金の管理 ⇒ 金銭帳へ記入

たとえば去年の4月19日に自分が何をしていたか、記憶だけでは曖昧にしか思い出せませんが、この4つを参照すれば即座に判明するわけです。

これが非常に便利なので、是非ともオススメしたい！

昔のスケジュール帳を見返していると、「炊飯器買ったの去年の2月だから保証外だな」とか、「このゲーム安かったけど3か月も遊んだのか」とか、色々な事実が見えてきて楽しめます。

最初は面倒かもしれません。

しかし一度習慣になると、書かないと逆に落ち着かない、一種の禁断症状に陥ります。

らくだ図書館が毎日更新なのも、実はそれが理由なんですよね。

時間の都合で更新できない日もありますが、その日に何があって何を考えたか、遡ってでも書いておきたいという欲求が。

そんなわけで、スケジュール管理と言うより日記の話題になりましたが、この欲求が消えない限り今後もブログは毎日更新で頑張ろうと思います。

えんために『激烈ワナビ戦』を投稿しよう！
原稿データはすでにあるから、必要な準備って特にないよね！

と悠長に構えていたんですが、800文字のあらすじを書いていないことに気が付いて、あわてて執筆作業するの巻。

そうだった……。
カクヨムに載せた分は、200字程度しかない……。

しかもあれは、「あらすじ」じゃなくて、単なる序盤の紹介ですからね（汗）

というわけで。
公募用のあらすじを、改めて用意しました。

いつもは本文終了後に勢いで仕上げるので、あらすじだけをじっくり書く機会はあまりないのですが、改めて作業するとなかなか面白いですね。

せっかくなので今回は、一人称で書いてみました。

三人称だと客観的な説明になりがちですが、一人称だとある程度主人公の主観が入っていても大丈夫なので、日記のようで非常に書きやすかったです。

ちなみにカクヨムですが、4月30日に取り下げ予定。

せっかく頂いた感想レビューを残したいので、削除ではなく非公開設定に変更し、落選が確定したらまた公開に戻そうかなーと。

落選前提で投稿するのもアレですが、ネット公開もそれはそれで楽しいので、規定に抵触しない範囲で併用していければな……と思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムに新ジャンル、「創作論・評論」ジャンルが、追加される模様です。

現状のジャンルだと、「エッセイ・ノンフィクション」の中に創作論が多いので、分離させる形ですね。

以下、公式ブログへのリンクです。

[【トップページ新着欄の表示位置変更と新ジャンル追加について】](#)

これ……。

参加しようかな……。

創作論と呼ぶほど大袈裟ではないですが、「こんなことを考えて創作してます」というのは、個人的にもものすごく発信したいので、それを伝えるのにぴったりなジャンルかなと。

ただカクヨムに参加すると、レビュー数やアクセス数が否応なしに目に入るので、それがネックな気がします。

この投稿ブログは一応4年以上続いてますが、それは「誰にも強制されていない」、「誰とも競っていない」から平気なのであって、順位を気にしたらキツイと思うんですよね。

順位をモチベーションにするのもそれはそれでアリですが、マイペースに活動する方が自分の気質には合っているし、今後も「細く長く」の姿勢でやっていこうかなと思います。

というわけで。

創作論ジャンルの新設は気になりますが、ひとまず様子見して、気が向いたら参加してみようと思います。

こんにちは、らくだです。

第4回集英社ライトノベル新人賞の最終結果が発表されました。

今回は特別賞が2本という結果でした。

受賞された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx4thAward/award.html>

結果は上記ページにあります。受賞者の河元さんのコメントに共感したので、一部分をそのまま抜粋します。

全項目が最低点の評価シートを貰ったこと。

十年経っても一次選考を通過できなかったこと。

自分の才能に限界を感じて、一度諦めてしまったこと。

……（中略）……今となってはどれも良い思い出です。

これ……！

なんかもう、なんかもう……！

この人も評価シートで落ち込んだんだ、それで一度は投稿を諦めちゃって、でも十年も頑張ったんだなあ……とか、色々激しく共感してしまって涙が出そう。

自分自身も割と投稿歴が長い方で、どれだけ苦しいかわかっているのに、自分以上に長く続けていらっしゃる方は、本当に尊敬するし努力が報われて欲しいと思います。

そういう方が受賞すると、見ているこちらにとっても、希望になりますもんね。

自分もヤケクソになったりせず、十年は頑張ろうと思いました。

こんにちは、らくだです。

コバルト短編小説新人賞の選評が追加されました。

月初段階では入選作 1 本だけの公開だったので、「ウェブ化の影響か？」と心配しましたが、最終選考の作品もしっかり追加されましたね。

コバルト短編の選評は、いつも楽しみにしていたので、本当によかったです。

【第 181 回・結果発表】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no181/>

前にも何度か書きましたけど、コバ短の選評は勉強になります。

複数の編集者による座談会形式で、「作者の狙いはこうだろうけど、ここの描写が失敗している」等々の問題点を教えてくれて、指摘が非常に具体的なんですよ。

作品本文も同時に公開されるので、一緒に読むと色々な発見があるし、今後もチェックしたいと思います。

あと今回追加された作品の選評に、「応募要項は守ること、投稿原稿は 400 字詰めで送ってください」という指摘があって、個人的に気になってしまいました。

あ、あれ……？

応募要項を守ってない作品も、読んで評価してくれるんだ……？

というわけで、その事実逆にビックリしたんですが、いずれにせよ応募要項はきっちり守りたいところです。

以上、コバルト短編の選評の話でした。

次回（第 182 回）の更新も楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

今回は新しいコンテストの紹介です。

カクヨムが新たな賞の開催を発表しました。

今回は漫画の原作となる小説を募集するようです。

以下、公式ブログの告知。

[【少年エース×カクヨム「漫画原作小説コンテスト」開催のお知らせ】](#)

内容をまとめると、

- ・賞金 100 万円
- ・ジャンル不問
- ・大賞作品はコミカライズし、少年エースに掲載、および単行本化確約
- ・3 万文字程度の完結作品を推奨
- ・応募作品受付は 5 月末から、締切は 6 月末～7 月頭を予定
- ・すでに掲載済みの作品も応募可能、ただし審査対象はコンテスト期間中の評価
- ・詳細は 5 月 26 日に発売の少年エースに掲載

今回の賞は 3 万文字推奨なので、対象となるのは中編小説ですね。

詳細発表まで 1 か月もありますが、いったいどうなるのか楽しみです。

あと今回は、コンテスト専用のランキングを設けるとか。

第 1 回のコンテストはごっちゃになっていて、非常にわかりにくかったので、ここは前回の反省で改善された部分でしょうか。

まだ詳細な応募要項は不明ですが、他にもきっと改善点が色々あると思うので、カクヨムが今後どう良くなっていくのか注目していきたいです。

ふはははは！

ついに本気を出す時が来たようだ！

というわけで。

カクヨムがエッセイコンテストの開催を発表しました。

ソースはツイッターの呟きで、まだ正式な告知は出ていない段階ですが、これは個人的に期待大です。

【該当のツイート】

https://twitter.com/kaku_yomu/status/724765209932365824

ウェブ拍手で教えてくださったあき様、ツイッターで「らくださんの出番だね！」と呟いてくださった皆様、心強い応援をありがとうございます。

いや、もう本当に……。

告知が出た瞬間に、複数の方々が反応してくれるなんて、感謝しかない……。

しかしこれだけエッセイに期待されると、「小説エ……」という気がしなくもないですが、それはあえて考えない方向性で。

とにかく今回は本気です。

本気と書いてマゾと読みます。

「今回は」とか言うと、今までの活動は何だったのよって話ですが、エッセイは自分にとって一番書きたい＆書きやすいジャンルですからね。

落選のショックでカクヨムのフォローは外したんですが、急いで再フォローしましたし、応募要項の正式な発表が今から楽しみで仕方ありません。

こんにちは、らくだです。

カクヨムエッセイの件で、ウェブ拍手から色々とコメントを頂戴したので、コピーしてそのまま掲載。

・カクヨムでエッセイコンテストがあるそうです。らくださんの文章大好きなので、ぜひ挑戦してほしいです！（あき様）

・いつもブログ読んでます。エッセイコンテストの件、今から応援しています！！常木さんのエッセイがカクヨムに投稿されたら、読みに行きますよ！（'▽'）（匿名様）

というわけで、まだ掲載前なのに複数の声援を頂いて、心強い限りです。

周囲にこれだけ応援されているにも関わらず、小説のアクセス数が微妙ってことは、ストーリーがよっぽど面白くないんですね！

（スーパー自虐モード）

なんて言って読者様を困惑させるのはやめて、真面目にエッセイの意気込みを語りますと、今回は本当に全力を尽くそうと思っています。

書く内容は応募要項を見てから決めるので、今は告知待ちですが、小説投稿エッセイは必ず掲載する予定。

その上で余力があれば、昔やっていた旅行ブログ（今は削除済）を書き直し、海外旅行エッセイも新規に掲載できればなと思います。

いずれにせよ、まずは応募要項ですね。

ツイッターの情報によると、近日中に発表らしいので、期待して待ちたいです。

カクヨムがイベント開催！

気になる内容はユーザーミーティング！

というわけで、小説投稿サイトのカクヨムが、初イベント「ユーザーミーティング」の開催を発表しました。

詳細は公式ブログに載っています。

【開催概要】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2016/04/27/213000>

- ・ 日時 2016年5月29日（日）14時開始（16時終了予定）
 - ・ 場所 角川第3本社ビル
 - ・ 参加費 無料
 - ・ 参加資格 応募時点で小説を一作でも投稿しているカクヨムユーザー
 - ・ 応募締切 5月9日（月）
- （応募者多数の場合、抽選結果は5月16日（月）にメールで連絡）

これは是非とも参加したい！

そして詳細レポートをブログに掲載したい！

と意気込んだものの、東京なんですよ。

この手のイベントの常なんですが、旅費・交通費の問題が発生するわけで。

なので大人しく諦めるか、思い切ってダメ元で応募してみるか、5月9日の締切まで悩んでみようと思いません。

うーん……。

東京在住だったら迷いなく応募するんですけどね……。

こんにちは、らくだです。

世間はゴールデンウィークなわけですが、初詣のおみくじが「旅：いきで帰らず、つつしむべし」だったので、今年は近場で過ごそうかなと思います。

さてさて。

なろうのジャンル再編成について続報が発表されました。

再編成（5月24日予定だそうです）以降、掲載済みの作品がどういう扱いになるのか、ここに具体的な説明が書いてあります。

【ジャンル再編後について】

<http://syosetu.com/teaser/genre301/>

- ・ 掲載中の全作品（一部例外あり）がノンジャンルへ振り分けられる
- ・ ノンジャンルに設定されているとジャンルランキングに掲載されない
- ・ ただし総合ランキングはジャンル不問なので掲載される
- ・ ノンジャンルからの移動期限はない

この「ノンジャンル」は、あくまで再編成に伴う仮ジャンルなので、ノンジャンルを選択して小説を書くことはできないようです。

いずれにせよ、ジャンル設定をした方が読者の目にとまりやすいですし、移行後はなるべく早く正しいジャンルへ変更した方がいいですね。

自分になろう未経験者ですが、作品を掲載している作者全員に関わるので、該当する方々はあらかじめ詳細をチェックしておくのがよさそうです。

以上、なろうのジャンル再編成の話題でした。

こんにちは、らくだです。

くみこ様、ねこまんじゅう様、コメントありがとうございました。
定期的な応援は本当に励みになるし、ブログのモチベーションに繋がります。

さてさて。

今回はカクヨムユーザーミーティングについてです。

一昨日も話題にしましたが、構成をよく見ると、こう書いてあるんですね。

- ・第一部 「編集者はこう見ている！ こう書籍化する！」
- ・第二部 「作品講評会」(※講評会は個別に行います)

特に気になったのは「※講評会は個別に行います」という部分。

小説の場合マンガと違って、原稿の持ち込みが原則的にできないので、かなり貴重な場ではないかと。

今回は完全な持ち込みではなく、事前に原稿をアップする必要があるようですが、それでも現役編集者の生の声が聞けるのは魅力的ですよ。

カクヨムに対しては批判的な意見も多く、自分もその幾つかには賛同しておりますが、今回のイベントやらニコニコラジオやら、今までにない斬新な取り組みも多いです。

そういう点は評価できると思うし、これからも注目していきたいなど。
「評価できる」とか言っちゃうと、お前は何様やねんって話ですが。

とにかくこのイベントは気になるので、自分自身が直接参加できないとしても、身近に参加される方がいいんじゃない、なんてことを思っている次第です。

こんにちは、らくだです。

カクヨムに掲載していた『激烈ワナビ戦』ですが、公募へ投稿するため、本日インターネットでの公開を取り下げました。

応募先はえんためです。

例年通りなら1次発表は6月です。

とはいえ落選するに決まっているので、落選が確定したら、また改めて掲載しようと思っています。

え？

悲観的すぎる？

ええねん、ワシは万年落選ワナビや……！

それにしても、いったん公開した作品を非公開に戻すのって、現状の仕様ですとかなり手間が掛かるんですね（汗）

各話のレビュー画面を開いて「下書きに戻す」をクリック。

この単純作業を34回繰り返し、ようやく非公開にできました。

今までの流れを見ていると、システム面の要望は割と反映されるみたいなので、落ち着いたらこの点について意見を送ってみようかなと思います。

いずれにせよ、えんため大賞へ複数投稿したのは、かなり久し振り。

落選の気配が濃厚とはいえ、通過発表までは夢を見ても許される期間なので、楽しみに待ちたいです。